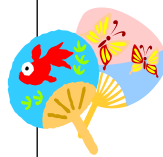


学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/E15/index.html>

H29.7.14(金) NO.8
尾崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



【浜小学校教育目標】 **こころ豊かでたくましく自ら学び続ける子**

- ⑥ もいやりのある子 (徳育) …他人を思いやり、共生感のもてる子
- ⑦ かがえる子 (知育) …筋道だてて考え、自尊心のもてる子
- ⑧ んきな子 (体育) …たくましい心と体で意欲のもてる子
- ⑨ ランティアの心 (志) …人に役立つ喜びのもてる子

先日、交番のおまわりさんから学校に電話がかかってきました。「浜小学校の6年生が道に迷っていたお年寄りに道を教えてあげて案内してあげてくれていました。とっても親切な子ども達だったので感心して連絡させてもらいました。」という内容のものでした。その後、おまわりさんが6年生の子どもから引き継いで、家まで送り届けてくださったそうです。6年生浜っ子の行いは、素晴らしいものだと思います。浜っ子の心に着実に「ボランティアの心」が育っているのを感じ、とてもうれしく思いました。

さて、今回の学校だよりでは、『おかげボ』を育てるの第4回目、「ボランティアの心」について、考えたいと思います。これは、ひとつ目の「思いやりのある子」と重なる部分が多いのではないかと思います。

①「ボランティア」ってなに？

ひとくちに「ボランティアの心」といいますが、「ボランティア」の定義にも百科事典、国語辞典、国の各省庁の指針等で調べると様々なものがあります。また、国によっても多少考え方も異なるようですが、とりまとめるとおおむね次のようなものになります。

- ① 自ら進んで行う活動 (自発性)
- ② や見返りを求めない活動 (無償性)
- ③ よりよい社会の実現をめざす活動 (社会への貢献, 公共性)
- ④ ともに支え合い、協力し合うこと

こうした条件に当てはまる活動が「ボランティア」と考えられるようです。小学生には、この表現では難しいので、大きく「人の役に立つこと」と考えたらよいのかと思います。

ボランティアは、決して、誰かに強制されたり、義務で行ったりするものではありません。自分の利益や報酬を求めて活動するものでもありません。ボランティアは、純粋に「社会の誰かのために、どこかの人のために、目の前の人のために、役立ちたい」という願いをもった行動、あるいはそれを行う人のことを指して言うものです。また、ボランティアは、一方的なものではなく、双方向の関係で成り立ち、「お互い様」といったような考えもあるようです。

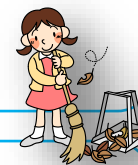
こうしたことを踏まえたうえで、浜っ子には、まずは、自然体で人の役に立つ行動ができたという観点で、「ボランティアの心」を育てていくことができればと考えています。

②「具体的には、どんなことでしょうか？」

ボランティアを大きく「人の役に立つこと」と考えた場合、小学生にとってもたくさんのことが「ボランティア」として考えられます。子ども達にもできそうな例をいくつか挙げてみましょう。

家庭では・・・

- 新聞を取りに行く。 ○ゴミだしをする。 ○肩たたきやマッサージをする。
- 食事の用意をする。 ○食器をかたづける。 ○脱いだ靴をそろえる。
- 洗濯物を取り入れる。 ○草花の水やりをする。 ○掃除をする。 など



学校では・・・

- 落とし物を拾う。 ○落ちていたゴミを拾う。 ○誰もいない部屋の電気を消す。
- 困っていた低学年の子を助ける。 ○しんどくなった人を保健室に連れて行く。
- はずれそうになった掲示物を貼り直す。 ○本棚の本を整理する。
- 出しっぱなしになっている水道を止める。 ○ほかの人の靴もそろえる。 など

地域では・・・

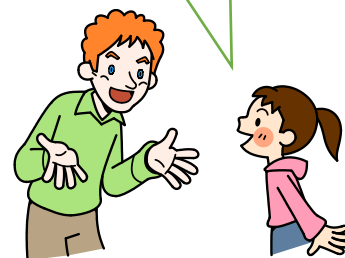
- 見つけたゴミを拾う。 ○道に迷っている人を案内する。
- 怪我をしている人を助ける。 ○バスや電車で席をゆずる。
- エレベーターでほかの人のおりる階を尋ねてボタンをおす。 など

だいじょうぶですか？

どうぞ、おすわりください。

何階ですか？

何かお手伝い
しましょうか。



人の役に立つことを数えあげると、きりがありません。誰かが困った様子でいる時には、「何か困ったことありますか。」「どうかしましたか。」「お手伝いしましょうか。」と自分から積極的に声をかけていくこともあるでしょう。もちろん、学年やその子に応じてできることも違ってきますし、親切のつもりがかえって自分が危険な目にあうということも考えられます。十分な注意は必要です。いろんな場合を考え、子どもに「こういう時は、こうしてあげたらいいのよ。」と具体的に伝えたり、「危ないこともあるから、注意してね。」「道を尋ねられた時、誘われても一緒についていけないようにね。」などと安全面での注意をしたりすることも忘れてはなりません。

【学校や地域でのボランティア】学校や地域でも多くの方がボランティアとして活動してくださっています。

- 図書ボランティア…図書室の環境整備や読み聞かせ ○PTAの大型紙芝居…製作や出演
- 登下校安全見守り…主に登校時の児童の通学の安全見守り ○夕方・夜の防犯見回り活動
- 清掃活動…学校周りや地域、公園等の掃除をされている方もたくさんおられます。
- 地域の花壇やお花の整備・水やり ○児童の学習支援等の学生ボランティア
- 小田北中学校と地域の方の合同清掃 など



いつもありがとうございます。

裏面に続きます。

③「自分から進んでできるようになるには・・・？」

- 大人が子どもに愛情たっぷりに接する。
- まず、大人から率先してやってみせる。

(子どもは大人の背中を見て育ちます)

- 子どもの「やりたい」「お手伝いしたい」という気持ちを大切にす。

特に小さな子は何でもやってみてみたいものです。料理や掃除などのお手伝いも「やってみて！」「やらせて！」という気持ちが強いものです。そんな時、「危ないから」とか「あなたがやってもきれいににならないから」と止めてばかりいたら、せっかくの温かい心も実行力も育ちにくくなってしまいます。でも、大人が忙しい時にも子どもは「やらせて！」と言ってくることもあります。

そんな場合は「今日は時間がないから、休みの日にゆっくりしようね」とやんわりと断り、休日にやり方をゆっくり教えながら一緒にやってみるといいかもしれませんね。

- 声のかけ方ややり方を教える。

- 子どもが実際に行動を起こした時に、その行動を認めて、具体的にほめる。

「友達の落し物を拾ってあげたんだってね。あなたは、いつもやさしいね。」「～したから、相手の人も助かったと思うよ。」「おじいちゃんが、『あなたが花に水やりしてくれた。』ってとても喜んでたよ。」 など

- 子どもが自分にしてくれた時は、しっかりと感謝の気持ちを伝える。

「ゴミ出ししてくれてありがとう。助かったわ。」「電気を消してくれてありがとう。おかげで節電できるわ。」「あなたが掃除してくれたおかげで気持ちよくなったね。」 など



たまたま何かの機会で子どもがやってくれたことだけでなく、家庭でこれは「〇〇ちゃんの係」と役割分担していて、すでに子どもの役割として定着していることでも、どんどん感謝の気持ちを伝えてあげてください。「いつもありがとう。助かっているよ。」

と声をかけるだけで、子どもは自分が役に立つ喜びを知り、「ちゃんとみていてくれるんだ。」と心も安定し、安心感を持つようになります。そして、義務感からだけでなく、自分でも楽しみながらお手伝いや人に役に立つことを続けて実行していくようになるのではないのでしょうか。

子どもですから、大人からみると不十分どころが見えるかもしれません。例えば、子どもがせっかく自分から進んで掃除をしたところ、まだゴミが残っていて大人から「まだゴミが残ってるでしょ！本当にいい加減なんだから…」と言われたらどうでしょう。子どもの次への意欲とエネルギーは半減どころか、もっと下がってしまうかもしれません。「子どもの意欲を下げたくはないが、するならきれいにしてほしい。」こんな時、お子さんにどんな声かけをしてあげられるでしょうか？みなさんもご一緒に考えてみてください。

それぞれに環境や性格も異なります。『子育て』に「こう育てたら、必ずこう育つ。」という保障も「これが正解」ということもありません。親も人間ですから、時にはイラッとして、とげとげした言葉を投げかけてしまうこともあります。後で気づいた時は、素直に謝ってしまうことも必要かもしれません。

大人は、日々の生活に追われ、ばたばたと一日を過ごしてしまいがちですが、大人自身もうまくストレスを発散しながら、根気よく取り組んでいくことが必要だと思います。

<人権講演会>

7月13日(木)兵庫県警察本部(尼崎少年サポートセンター)より講師をお招きし、保護者と6年生の児童を対象として、情報モラルについて講演会を開きました。自分達の命と安全を守るために、気をつけなければいけないことを、具体的に事例を踏まえてお話していただきました。

スマホやネット環境が発達し、便利になって行く反面、子ども達の命と安全、将来を守るためには、子ども自身もそうですが、大人も十分注意していく必要があると感じました。ご家庭でも、十分ご注意ください。

- 注意点**
- 住所や名前、電話番号、学校名、アドレス、写真などの個人情報が世界中に拡散され、悪用されることがある。(たとえ仲のよい友達であっても要注意！)
 - 一度、流れた情報は、削除することが難しい。
 - 様々な情報には、正しいことも正しくないことも含まれている。

いったん、ツイッターやタイムラインに出された情報は、悪用の恐れがあるばかりでなく、削除することが困難で、「命や安全をおびやかされる・莫大な賠償金を請求される等」の危険性があります。また、進学や就職などの際にも、SNS上に残っている情報を調べられ、影響することもあるようです。



<お知らせ>

前回の学校日よりでもお知らせしましたが、尼崎市の小中学校等では節電対策として、教育委員会の方針で夏季休業中の8月11日(金)～17日(木)の7日間、学校・園の職員室等を閉鎖いたします。何かございましたら事前にご相談ください。放課後や休日に運動場・体育館等の貸し出しをしています「学校開放事業」もこの期間は、休止します。趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願いいたします。

<9月の予定>

- 9月 1日(金) 始業式 大掃除
- 9月 5日(火) 水泳記録会(5・6年) 予備日: 6日(水)
- 9月 6日(水) 給食開始(1～4年) ※5・6年は、7日(木)より
- 9月30日(土) 体育大会 予備日: 10月1日(日) 代休日: 10月2日(月)